

## 平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書 (単位:千円)

政策目標	5	文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街						
重点課題	3	将来を見据えた魅力ある都市の整備						
施策の基本方針	都市の持続的な発展を目指し、市民・企業・行政が一体となって、都心の魅力と活力を高めるために実効性のあるまちづくりを進めるとともに、市民の日常生活を支える地域の拠点を再整備し、道都にふさわしい風格のある街並みとにぎわいを創出します。また、公共交通機関を軸とした交通体系の確立を図り、人と環境を重視した快適で美しい街の実現を図ります。							
	計画事業の実施状況							
施策番号	事業名	計画事業費	実績事業費					進捗率(%)
			19年度(決算)	20年度(予算)	21年度(予算)	22年度(予算)	合計	
1	都心まちづくり戦略の策定及び推進	10,000	13	5,000			5,013	50.1
1	創世交流拠点整備事業(創世1.1.1区再開発事業)	57,000	20,000	16,000			36,000	63.2
1	(仮称)市民交流複合施設整備事業	50,000	30,451	4,500			34,951	69.9
1	北海道新幹線推進事業	50,000	9,384	15,000			24,384	48.8
1	札幌駅交流拠点再整備構想策定事業	22,000	2,835	8,000			10,835	49.3
1	大通交流拠点再整備構想検討事業	10,000	0	0			0	0
1	都心再生協働事業	74,000	17,086	19,964			37,050	50.1
1	都心交通環境改善事業	70,000	13,384	14,000			27,384	39.1
1	札幌駅前通地下歩行空間整備事業	14,126,000	2,055,387	3,182,000			5,237,387	37.1
1	札幌駅前通地下歩行空間活用推進検討	180,000	9,931	9,500			19,431	10.8
1	創成川通アンダーパス連続化事業	10,436,000	4,684,000	4,761,000			9,445,000	90.5
1	創成川通親水緑地整備事業[再掲]	2,100,000	0	322,000			322,000	15.3
1	創成川アートワーク事業[再掲]	58,000	5,362	5,200			10,562	18.2
2	丘珠空港周辺のまちづくり事業[再掲]	4,681,000	1,805,194	1,117,000			2,922,194	62.4
2	市民との協働による都市計画制度の普及	12,000	2,748	3,000			5,748	47.9
2	地域特性に応じた土地利用の再構築事業	50,000	6,593	11,000			17,593	35.2
2	苗穂駅周辺のまちづくり事業	14,000	6,825	2,000			8,825	63
2	景観計画推進事業	16,000	3,782	4,000			7,782	48.6
2	都市景観重要建築物等の保全事業	30,000	4,221	11,000			15,221	50.7
2	乗継施設等整備推進事業	27,000	13,147	9,300			22,447	83.1
2	自転車利用適正化対策事業	30,000	6,557	7,000			13,557	45.2
2	民間再開発による地域まちづくりへの支援事業	2,605,000	414,560	544,000			958,560	36.8
2	“ひかりの”元気の杜推進事業	1,477,000	14,000	415,000			429,000	29
2	図書館サービス網の拡充	35,000	32,195	0			32,195	92
2	(清田区)やすらぎ歩行空間プランの策定	8,000	0	2,000			2,000	25
3	将来交通体系の検討	296,000	102,000	87,000			189,000	63.9
3	路面電車活用方針検討調査	67,000	20,913	19,000			39,913	59.6
3	路面電車老朽車両の更新に伴う低床車両の導入		0	0			0	-
3	バス交通維持対策事業	29,000	10,160	8,000			18,160	62.6
3	交通バリアフリー推進事業[再掲]	160,000	18,237	80,600			98,837	61.8
3	交通結節点改善事業(JR白石駅周辺地区)	4,524,000	1,509,000	627,000			2,136,000	47.2
3	地下鉄ICカードシステムの導入	3,271,000	1,168,789	1,410,260			2,579,049	78.8
3	交通ICカードの導入と活用	5,000	0	0			0	0
合計(計画事業費が「-」の事業は除く)		44,580,000	11,986,754	12,719,324			24,706,078	55.4

## 平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	5	文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街					
重点課題	3	将来を見据えた魅力ある都市の整備					
達成目標の状況							
施策番号	項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
1	都心まちづくり戦略の策定	検討	検討	骨子策定	策定		策定 (19年度)
1	都心まちづくり会議の設置	検討	設置				設置 (19年度)
1	創世1.1.1区街づくり指針の策定	検討	検討	策定			策定 (19年度)
1	北1西1・大通東1再開発基本計画の策定	検討	策定				策定 (19年度)
1	〔(仮称)市民交流複合施設整備〕施設基本計画の策定	検討	検討	策定			策定 (20年度)
1	〔(仮称)市民交流複合施設整備〕施設実施方針の策定	-	-	検討・策定			策定 (20年度)
1	〔北海道新幹線推進〕札幌延伸の早期事業化の推進	-	推進	推進	推進	推進	推進
1	札幌駅交流拠点再整備構想の策定	-	検討	検討	検討	検討	策定
1	サッポロ広場形成計画の策定	検討	検討	検討	検討	策定	策定
1	新中心市街地活性化基本計画の策定	検討	検討	素案策定	策定		策定 (20年度)
1	大通・駅前通地区まちづくり計画の策定	-	-	-	-	検討	検討
1	創世1.1.1区・札幌駅前周辺地区交通環境改善計画の策定	-	検討	検討	対策策定	対策策定	事業化調整
1	地下歩行空間(地下歩道)の整備	工事中	工事中	工事中	工事中	供用開始	供用開始
1	〔札幌駅前通地下歩行空間活用推進検討〕関連条例の制定	検討	検討	検討	制定	制定	制定
1	〔札幌駅前通地下歩行空間活用推進検討〕「にぎわい」がある空間の創出	検討	検討	検討	検討	供用準備完了	供用準備完了
1	〔創成川通〕アンダーパス連続化	工事中	工事中	供用開始			供用開始 (20年度)
1	創成川通地上道路部分整備	工事中	工事中	工事中	工事中	完成	完成
1	都心部における水とみどりの空間	-	-	工事中	工事中	1.9ha	1.9ha
1	〔創成川アートワーク〕アートワークの設置	-	設置作品の検討	設置作品の決定	設置作品の制作	設置	設置
2	〔丘珠空港周辺のまちづくり〕緑地整備の推進	4.1ha	4.1ha	4.1ha	4.1ha	10ha	10ha
2	「まち本」等活用講座受講者数	127人	500人	500人	500人	500人	500人
2	地区計画の決定、変更数	-	-	-	-	3地区	3地区
2	地域まちなみづくり推進制度の策定	検討	検討	検討	策定	運用	策定 (21年度)
2	〔苗穂駅周辺のまちづくり〕まちづくり推進プログラムの策定	検討	検討	検討	検討	策定	策定
2	景観計画重点区域の指定及び既指定地区の基準等見直し	-	協議	協議	協議	指定	3地区
2	地域における景観まちづくりの展開	-	協議	協議	協議	指定	1地区
2	景観保全型広告整備地区の指定(大通地区)	協議	協議	指定			指定 (20年度)
2	景観保全型広告整備地区の指定(札幌駅前通地区)	協議	協議	協議	協議	指定	指定
2	都市景観重要建築物等の指定件数(累計)	18件	23件	28件	29件	30件	30件
2	栄町駅周辺交通環境整備計画の策定	検討	策定				策定 (19年度)
2	乗継施設等整備基本計画の見直し	検討	-	調整	検討	策定	策定

## 平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	5	文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街					
重点課題	3	将来を見据えた魅力ある都市の整備					
達成目標の状況							
施策番号	項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
2	(仮称)自転車利用総合計画の策定	調査、検討	調査、検討	素案策定	策定		策定 (21年度)
2	駐輪場附置義務条例の適用対象施設拡大	調査等	調査等	素案	条例改正		条例改正 (21年度)
2	JR篠路駅西第2地区再開発事業	-	事業着手	駅前広場 工事等	完了		完了 (21年度)
2	琴似4・2地区再開発事業	-	-	事業着手	住宅工事等	住宅工事等 (23年度完了)	完了 (22年度)
2	〔“ひかりの”元気の杜推進〕土地活用率(地区内において宅地建設など土地の利用が図られた割合)	19%	22%	25%	28%	30%	30%
2	〔“ひかりの”元気の杜推進〕公園・緑地面積	1.4ha	1.4ha	2.4ha	6.3ha	6.3ha	10ha
2	〔図書館サービス網の拡充〕ネットワークへの組み入れ箇所数	38カ所	39カ所	40カ所	未定	未定	40カ所 (19年度)
2	(清田区)やすらぎ歩行空間プランの策定	-	-	検討	検討	策定	策定
3	交通体系マスタープラン策定	調査、検討	調査、検討	マスタープラン 素案策定	マスタープラン 策定		策定 (20年度)
3	〔路面電車活用方針検討調査〕基本計画(案)の策定	検討	調査、検討	調査、検討	策定		策定 (21年度)
3	〔路面電車老朽車両の更新に伴う低床車両の導入〕低床車両の数	-	-	-	-	1両	1両
3	バス交通のあり方設定	検討	検討	検討	策定		設定 (21年度)
3	バス利用環境改善方策策定	検討	検討	策定			策定 (20年度)
3	利用者5,000人/日以上の上のJR駅バリアフリー化(累計)	9駅	9駅	10駅	11駅	12駅	12駅
3	ノンステップバスの導入台数(累計)	51台	57台	63台	69台	75台	75台
3	JR白石駅自由通路の整備	-	-	-	工事中	供用開始	供用開始
3	地下鉄へのICカードの導入	-	-	導入			導入 (20年度)
3	〔交通ICカードの導入と活用〕ICカードの商業、行政利用との連携枠組み検討	-	-	-	検討		検討 (21年度)



## 平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	5	文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街
重点課題	3	将来を見据えた魅力ある都市の整備
評価（成果）		課題
<b>施策1 都心のまちづくり</b>		
<p>「都心まちづくり戦略」の策定に向け、経済界や関係行政機関との情報共有と連携を進め、都心全体のまちづくりの方向性や施策展開について協議した。また、創世1.1.1区や市民交流複合施設等の整備の検討や、駅前通公共地下歩行空間、創成川アンダーパス連続化の工事を進めるとともに、完成後の地下歩行空間、創成川通親水緑地の活用スキームについての検討を進めた。</p> <p>さらに、都心内各地域において地域の管理を地域が主体的に行う取り組み（エリアマネジメント）への支援を進めるなど、市民・企業との協働によるまちづくりを進めている。</p>		<p>風格と魅力ある都心を実現するためには、行政単独の施策展開では困難であり、官民が効率的に連携した取り組みが必要である。</p> <p>そのためにも、官民が共有できる「都心まちづくり戦略」が必要である。また、民間ノウハウを最大限に生かしながまちづくりを展開する、民間の主体的かつ自発的な「実働組織」が必要であり、その設立に向けて地元事業者や商業者の意欲を高めていくことが課題である。</p>
<b>施策2 快適で魅力的な地域への再構築</b>		
<p>「JR篠路駅西第2地区」再開発事業や「苗穂駅周辺まちづくり」への支援・調整、「栄町駅周辺交通環境整備計画」の策定など、市民との協働により拠点の再整備に向けた取り組みを進めるとともに、多様な住まい方を支える質の高い居住環境を実現していくため、開発時期の古い郊外住宅地の土地利用ルールのあり方や土地の利用転換を検討するなど、その他の地域においても、地域の課題や特性に応じた都市づくりを進めている。</p>		<p>各まちづくり計画の策定、事業の実施にあたり、引き続き地域住民や関係機関との調整を図っていく必要がある。</p> <p>また、景観に関するルールに基づき、都心部における良好な景観の形成や、歴史や文化を伝える景観の保全など、地域特性を生かした個性豊かで魅力的な景観を形成していく必要がある。</p>
<b>施策3 公共交通機関の利便性向上</b>		
<p>JR駅のバリアフリー化の推進や、ICカード「SAPICA（サピカ）」の導入に向けた取り組みなど、公共交通機関の利便性向上を図る取り組みを進めている。</p> <p>また、現在の少子高齢化などの社会情勢を考慮した交通体系マスタープランの策定に向け、パーソントリップ調査の結果を基に、都市交通における現況分析を実施した。</p>		<p>公共交通の利便性向上を図り、利用促進につなげていくため、今後もバリアフリー化や乗継環境の向上などの取り組みを進めるとともに、これまで以上に公共交通事業者相互の連携や市民との協働の取り組みが必要となっている。</p>
<b>今後の重点取組</b>		
<p>これからの都市づくりでは、環境負荷の低減を図りながら市民生活の質の向上を支えるとともに、札幌を世界に広く発信し、世界的な都市間競争をリードしていくことが重要である。</p> <p>このような中、都心では、これまでのまちづくりの取り組みや、札幌駅前通地下歩行空間整備や創成川通アンダーパス連続化事業などの大規模公共施設整備によって、都心における民間の都市開発意欲は高まりを見せつつある。これらの社会経済動向を踏まえ、札幌市が考えるまちづくりの方向性を「都心まちづくり戦略」として明示し、市民・企業・行政で議論・意見交換を行うことにより、共通の認識を持ち、都心のまちづくりに取り組んでいくことで、将来を見据えた一体的・効率的なまちづくりが推進される。</p> <p>地域では、各まちづくり計画等に基づく都市づくりに取り組んでいくことにより、市民の日常生活を支える機能を集積し、誰もが安心して、快適に過ごせ、活力に満ちた拠点の育成・整備が図られるとともに、より実効性の高い景観施策により、地域特性を生かした個性豊かで魅力的な景観形成が推進される。</p> <p>また、公共交通環境については、これまで以上に公共交通事業者相互の連携や市民との協働に取り組んでいくことにより、一層快適で利用しやすい環境が創出される。</p>		

平成20年度第2次新まちづくり計画施策進行調書

政策目標	5	文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街
重点課題	3	将来を見据えた魅力ある都市の整備

成果指標等の動向

<p>項目1 札幌の都心に「にぎわい」があると感じる人の割合(単位:%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>値</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>64.7</td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>63.8</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>75</td></tr> </table>	年度	値	H18 (現状値)	64.7	H19 (実績)	63.8	H22 (目標値)	75	<p>項目2 住んでいる地域の住環境(街並み)に満足している人の割合(単位:%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>値</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>53.4</td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>54.4</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>65</td></tr> </table>	年度	値	H18 (現状値)	53.4	H19 (実績)	54.4	H22 (目標値)	65
年度	値																
H18 (現状値)	64.7																
H19 (実績)	63.8																
H22 (目標値)	75																
年度	値																
H18 (現状値)	53.4																
H19 (実績)	54.4																
H22 (目標値)	65																
<p>項目3 公共交通に対する満足度(単位:%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>値</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>42.3</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>50</td></tr> </table>	年度	値	H18 (現状値)	42.3	H22 (目標値)	50	<p>項目4 公共交通の利用者数(単位:万人)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>値</th></tr> <tr><td>H18 (現状値)</td><td>109</td></tr> <tr><td>H19 (実績)</td><td>109</td></tr> <tr><td>H22 (目標値)</td><td>110</td></tr> </table>	年度	値	H18 (現状値)	109	H19 (実績)	109	H22 (目標値)	110		
年度	値																
H18 (現状値)	42.3																
H22 (目標値)	50																
年度	値																
H18 (現状値)	109																
H19 (実績)	109																
H22 (目標値)	110																
<p>項目5</p>	<p>項目6</p>																

成果指標等から見た重点課題の評価

「札幌の都心に『にぎわい』があると感じる人の割合」は、平成18年度の実績を下回っている。下降の一要因は、現在札幌駅前通地下歩行空間の整備工事、創成川通アンダーパス連続化工事に着手していることによるものと推測され、完成し、親水緑地空間などが整備される平成22年度には、割合の上昇が期待できる。

「住んでいる地域の住環境(街並み)に満足している人の割合」は、若干の上昇をしている。本指標は、市民の日常生活を支える多様な機能の向上や、魅力的な景観形成などにより増していくものと考えられるが、今日の都市づくりでは、多様化するニーズやまちの課題に対応していくために、各地域の課題や特性に応じたきめ細かなまちづくりを市民との協働により時間をかけて進めていく必要があることから、目標値の達成に向け引き続き現在の取り組みを実施していく。

「公共交通の利用者数」は、平成18年度実績と同じ数値となっている。これは、公共交通の利用需要増となる大きな外部要因がない中で、利便性向上を図る各種施策の展開により維持しているものであり、目標値の達成に向け引き続き現在の取り組みを実施していく。